

市立図書館で、一番貴重な本・資料は何ですか？

樺太関連の資料です。現在約800冊あり、その中でも明治38（1905）年の資料が一番古く貴重です。



100年以上前に出版された『樺太回復記念帳』

9月末に寄贈を受けた樺太関連本約294点の一部を11月中旬に企画展示します。ぜひ、ご覧ください。

図書館のアザラシのキャラクターに名前はあるの？

実は、名前はありません。この絵は、現在の図書館開館の当時、ゴマフアザラシの「ゴマちゃん」が人気でした。さらに、抜海付近でも、アザラシが見れたこともあり、子どもたちに親しまれる図書館にと、このアザラシのキャラクターが採用されました。

現在、図書館利用者カードや正面の玄関のマットなどに使用しています。

ボランティア

市立図書館では、朗読や読み聞かせ、地域の交流イベントの開催など、4つのボランティア団体が活動しています。

わっかない声の図書館

「視力障がい者の為に声の図書館を発足してほしい」とカセットテープ録音機材一式が市立図書館に寄贈されたのがきっかけで昭和51年8月から始まりました。毎月、声の広報紙として「広報わっかない」のテープ作製をはじめ、生活情報「生活のひろば」やリクエスト「生活のひろば」やリクエスト館で活動しています。



広報紙の朗読テープ作製の様子

菜の会

自分で本を読むのが難しい方たちへ新聞のコラムの朗読テープやリクエストに応じた朗読テープの作製、朗読会なども行っています。



図書館まつりの朗読会

活動内容／

- 学習会：毎月第1、3金曜日18時30分～キタカラ2階「市民活動室」
- 録音等：上記のほか、毎月1回テープの作成等を行っています。

朗読テープの利用方法／

いずれも、利用を希望される方は、図書館へ申し込みください。※後日、作成されたものを図書館より送付します。

※平成27年4月（予定）よりカセットテープからCDでの送付に変わります。

申し込み・問い合わせ／

市立図書館
☎23-3874

わっかない図書館友の会

平成15年度発足から図書館で親子・幼児や特別老人ホーム「富士見園」へ訪問しておはなし会の開催をはじめ、春の図書館フェスティバルや秋の図書館まつりなどにも参加しています。また、春は図書館の花壇整備、秋は図書館まつりでのジャック・オ・ランタン制作、冬はアイスキャンディ



人気の「かぼちゃのランタンづくり」

ブックスタートボランティア「ラッコの会」

平成15年10月より、市のブックスタート事業を応援しようと市民ボランティアが結成されました。活動は、毎月1回、保健福祉センターで行われる7、8か月乳児健康相談の時に読み聞かせをしたり、気軽な話し



7～8か月乳児健康相談の様子

相手として子育ての応援のお手伝いをしています。

ル作りなど、地域の交流イベントや奉仕活動を行っています。

会員を募集しています！

紹介した4つのボランティアでは、会員を募集しています。「興味がある」、「参加したい」という方は、図書館または、ホームページをご覧ください。

市立図書館

稚内市大黒4丁目1番1号 ☎23-3874

■ホームページ

<http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/toshokan/>



こんにちは市長です。No.21



「夢・心を育む読書」

11月を迎え、秋が一層深まってきました。いよいよ、雪の季節が目の前というところでしょうか。日が短くなればなるほど、忙しさに追い回されて忘れていた読みかけの本を手取る機会が増えている気がします。

9月で終わったNHKの朝の連続テレビ小説「花子とアン」を見ていて、主人公の花子が本を読み漁る様子に、「最近の子どもたちの読書量はどんなだろう」とふと考え込んでいました。

自分の子どもの頃の記憶でも、読書を通じてみたことない世界を体験することができ、まさに「想像の翼」を広げて、夢を膨らませていたなあと、そんなことを考えながら番組を見ていました。

私たちのまちには、他に誇れる快適な環境の図書館があります。しかも、その図書館を通じて、たくさんの方々に本に触れてもらおうと、活動していただいているボランティアの皆さんがいます。

「わっかない図書館友の会」、「ブックスタートボランティア（ラッコの会）」、「稚内声の図書館」、「菜の会」などのボランティアの皆さんが、それぞれの目的に合わせて、読書活動を展開し、読書の喜びを広げています。

「想像の翼」を広げることは、子どもたちの未来を豊かにし、人づくり、家庭づくりはもとより豊かなまちづくりに繋がります。

時間がありましたら、ぜひ、図書館にお出かけください。

稚内市長 工藤 広